

学生研究補助(インターン)を募集している研究活動

● SciREX セミナーの補助

定員	2 名 (SciREX セミナーの会場が霞ヶ関近辺のため、関東圏の学生に限ります)
専門性	特に必要ありません。
内容	○SciREX セミナーの活動の全般に関わっていただきます。 SciREX セミナーでは、多角的な観点から政策課題や研究課題を理解するために、政策担当者と研究者、その他関係者が率直な議論を行う場を提供しています。会場は霞ヶ関周辺の会議室で、行政官や研究者を中心に毎回 20～30 名程度の方が参加されています。 学生の方には、テーマや話題提供者の選定から、話題提供者・ファシリテーターとの打ち合わせ、広報資料作成、当日のセミナー運営、改善方法の検討、開催報告の執筆まで、SciREX セミナーに関する一連の業務に関わっていただきます。
身につく知識・スキル・経験	・ 政策を構想するための知識 ・ 政策担当者や研究者の考えや、置かれた環境、日々の悩みなど ・ 企画、運営、広報等のノウハウ全般 ・ 研究者、政策間担当者、関係者との人的ネットワークなど

● 社会・国民とのコミュニケーションを含めた政策形成プロセス研究の補助

定員	2 名
専門性	政治学・行政学・政策学
内容	○政策形成過程のケーススタディを通して、有効な政策案を実施するため必要な要素を探索していただきます。 科学技術イノベーション政策研究センターの政策形成プロセス実践領域では、政策形成プロセスを対象とした研究を行うことで、その政策が成功または失敗した原因を探り、有効な政策案を実際にも実施するためにどのような要素が必要かを探索しています。 本研究では、ステークホルダー間で「費用対効果・需要対供給（現実対理念）のミスマッチが起こった場合」のケースとして、現在のところ、「太陽光パネルによる発電の供給過剰問題」と「ロースクールの問題」に関してケーススタディを実施しており、学生の方には、先行研究の調査、審議会の議事録分析、インタビュー調査、事例の提案及びプロジェクトの運営補助等に関わっていただきます。
身につく知識・スキル・経験	・ 政策過程研究に関する知識や経験 ・ 研究を進めるためのマネジメント能力 ・ 研究者、政策間担当者、関係者との人的ネットワークなど

● 政策分析・影響評価領域の補助

定員	2 名
専門性	情報工学、計量書誌学、経済学
内容	○イノベーションプロセスの解明を進めるためのデータベース設計・構築 政策分析・影響評価領域では、科学技術の変遷および政策の変遷を把握し、それらの情報をマッピングすることで、科学技術およびその政策が新製品や新サービスとして具現化されるイノベーションにどのような影響を与えたのか定量的に解析することを目指しています。 本研究では、(1) JST 研究開発戦略センター研究開発戦略センターがこれまでに実施してきた科学技術課題の調査，(2) NISTEP 科学技術動向研究センターが実施してきた科学技術予測調査，(3) 特許および論文書誌情報データベース（PATSTAT，Web of Knowledge，Scopus など），(4) 新製品や新サービスに関わるプレスリリース情報等のデータベースを接合することにより，個々の科学技術がどのようなアウトプットを生み出したのか，その際，政策的な資源投入あるいは制度変更がどのような影響を与えたのかを明らかにします。インターン生には（A）データベースの接合および名寄せ手法の開発・検討，（B）定例ミーティングへの参加等の業務に関わって頂きます。
身につく知識・スキル・経験	・ 多変量解析や統計分析に関する知識と実務経験（いわゆる「データサイエンティスト」として一般に求められる能力） ・ プログラミング言語（PHP，JAVA，C，ruby 等）を活用する知識と経験 ・ 大量のテキストデータ（いわゆる「ビッグデータ」）を活用する経験 ・ 科学技術イノベーション政策に関わる研究者・行政官、その他関係者との人的ネットワーク

